

正解及び解説・出典シート

第1 地理分野

問1 ウ

かつらぎの道は、歩行者・自転車専用道路のため通勤・通学の方に便利であるとともに、緑が多く、憩いの場にもなる道路です。歩行者用と自転車用に分かれており、広い道幅となっています。



問2 ア

広陵町の面積は16.30km²、吉野町の面積は95.96km²です。県内15の町のうち広陵町は7番目で、他に田原本町や平群町などが広陵町よりも面積が広がっています。

問3 ウ

広陵町は、北から時計回りに河合町、三宅町、田原本町、橿原市、大和高田市、香芝市、上牧町と7市町に囲まれています。

問4 ウ

五位堂駅（香芝市）は近鉄大阪線、但馬駅（三宅町）、池部駅（河合町）はそれぞれ近鉄田原本線にあり、但馬駅は箸尾駅の東、池部駅は箸尾駅の西にあります。

問5 エ 問6 イ

南北で一番長いのは北は高田川から南は県道5号線の大和高田市に抜ける部分、東西は、笠・ハリサキ線および百済赤部線が通っている部分が一番長くなっています。

問7 ア

大字寺戸と大字大野にまたがっている小字で、この付近の高田川にかかる橋は、「おんどり橋」と言います。

問8 イ

大字疋相に日本基督教団に属する馬見労務協会があり、その向かいに馬見労務保育園があります。

問9 ア

昭和48年12月に土地区画整理事業が始まり、昭和58年から入居が始まりました。今では広陵町の人口のほぼ半数を有する大きなニュータウンとなりました。

『広報こうりょう』昭和48年12月号表紙

問10 ウ

大字広瀬の広瀬川に架かる橋の名前で、大字広瀬の小字マンガにあることから、マンガ橋と名付けられました。マンガと漫画の関係性は分かっていません。

問11 ウ

アは、昭和40年代、イは昭和50年代、ウは昭和60年代、エは平成7年頃の航空写真です。左下のニュータウンが徐々にできていることから年代が特定できます。昭和60年代は、土地が整理されているだけで、ほとんど建築されていない状態です。



問12 ウ

昭和39年に近鉄が買収を行いました。経営の合理化により、近鉄田原本線の新王寺駅及び西田原本駅を除く中間駅は、平成23年から無人駅となっています。



問13 ウ

馬見丘陵公園は大きく4つのエリアに分かれており、池部駅から馬見丘陵公園の大型テントまでのエリアが緑道エリア、大芝生広場や大型テントおよび花見茶屋があるのが北エリア、公園館、菖蒲園やナガレ山古墳などがあるのが中央エリア、そして巢山古墳に隣接するのが南エリアです。



『馬見丘陵公園ホームページ』

問14 ア

大阪までは直線距離で約30kmで、近鉄高田駅や五位堂駅から急行で約25分で大阪市中心部へ行くことができ、大阪大都市圏に含まれていることから、真美ヶ丘ニュータウンを中心にベッドタウンとして発展しました。

『広陵町史』P767・768

第2 歴史分野

問15 ア

「今は昔竹取の翁といふものありけり……」で始まる竹取物語の序段で、「名をば讃岐造となむいひける。」とあります。この地が讃岐（散吉：さぬき）、また讃岐神社と呼ばれていることもここが竹取物語の舞台ではないか、とされています。

『広陵町 暮らしのガイド』P20



問16 ウ

かぐや姫に求婚する5人の貴公子のうち何人かが実在する貴族がモチーフになっていると言われています。

『広陵町史』P1136・1137

問17 ア

現在の大字三吉（赤部区）にあります。

『広陵町史』P1126

問18 イ 問19 エ

『広陵町史』P986

問20 エ

武士の馬の扱いと弓矢の扱いを披露するものとして、流鏝馬神事に参加していました。

『広陵町史』P220

問21 ウ

江戸時代初期、渇水に悩まされていた南郷地区の現状を見て、現在の大和高田市大字築山に南郷池を整備したのが、北見（喜多見）五郎右衛門でした。

『広陵町史』P296～302

問22 イ 問23 ウ

当時は、3町村の合併を望まず、大和高田市の合併を望んだ地区もあり、さまざまな争いがありました。最終的に当時の奈良県知事の専決処分により合併が昭和30年4月15日に実現しました。しかし、大和高田市に隣接する大字池尻と大字藤森は、昭和32年4月に住民投票を実施、同年7月に分離が確定しました。

『広陵町史』P689～693

問24 イ

真美ヶ丘ニュータウンに隣接するみささぎ台地区は、昭和55年に組合が設立され開発が始まり、昭和60年から入居が始まりました。

『広陵町史』P774～776

問25 イ

問9に記載。

問26 エ

大字古寺にある奈良県広陵健民運動場（健民グラウンド）でソフトボールが、広陵中央体育館でフェンシングが行われました。

『第39回国民体育大会わかくさ国体写真集』

問27 ウ

広陵町立図書館は平成9年にオープンし、町内外を問わず多くの方が利用されています。一時期、同規模の図書館の中で、一人当たりの貸出冊数が日本で1、2を争うこともありました。

『広陵町 暮らしのガイド』P9 『広陵町町勢要覧2014』P9

問28 イ

a. は馬見村と瀬南村と「百済村」が合併しました。d. は甲子園に「初出場」で、2回目は大和広陵高等学校として平成25年のセンバツに出場しました。

問29 エ

中央公民館は昭和48年3月、かぐや姫ホールは平成6年10月、サンワーク広陵は平成9年4月、さわやかホールは平成13年5月に竣工しました。

『広陵町 暮らしのガイド』P8・9 『広陵町町勢要覧2014』P9・10

問30 ウ

この辺りは昔の古戦場であったようです。

広陵町社会教育委員会編纂『広陵町の民話』②赤坂の古戦場（大野）

『(旧) 広陵町史』P435・436

問31 イ

元々、他村（佐味田）の領地でしたが、付近を開墾し、麦粉と交換したことからこの名がついたといわれています。なお、麦粉池は「むかいけ」と呼ぶそうです。

広陵町社会教育委員会編纂『広陵町の民話』⑨麦粉池（赤部）

『(旧) 広陵町史』P444

問32 エ

広陵町社会教育委員会編纂『ふるさとの言葉』No. 272

問33 ア

広陵町社会教育委員会編纂『ふるさとの言葉』No. 39



問34 ア

広陵町社会教育委員会編纂『ふるさとの言葉』No. 144

問35 ウ

広陵町社会教育委員会編纂『ふるさとの言葉』No. 109



第3 古墳分野

問36 ウ

梅山古墳は明日香村にある古墳で、全長約140mの前方後円墳です。

問37 ア

右の写真のとおり、巢山古墳は馬見丘陵の中央部に位置する前方後円墳で、墳丘全長220mは馬見古墳群中最大規模を誇ります。遺物は勾玉や腕輪、鏡、冠等であり、形象埴輪も多数出土しました。

その規模と出土品から4世紀末～5世紀初に築かれた葛城氏の王墓とみられています。

『広陵町 暮らしのガイド』P18



問38 イ

馬見古墳群は、河合町から広陵町を通り、大和高田市築山あたりまでの丘陵地帯にある古墳群で、佐紀古墳群、大和古墳群と並ぶ大和三大古墳群の一つとされています。

『大和葛城の大古墳群』P4～P9 『広陵町暮らしのガイド2015』P18

問39 ア

右地図のように、周濠の東半分は広陵町の飛び地、墳丘の90%以上は、河合町（大字佐味田）の土地ですが、広陵町が所有しています。発掘調査は河合町が主体となって行いました。



※出典：ゼンリン住宅地図2017

問40 ウ 問41 ウ

帆立貝形古墳の大きさ1位は男狭穂塚古墳（宮崎県）で、周濠は盾形です。水鳥形埴輪は出土していません。

『河合町文化財ガイドマップ』、『KAWA I てくてく水彩紀行』

第4 寺院・神社分野

問42 エ

それぞれの選択肢の像は、広陵町の他の寺の本尊となっており、十一面観音立像は正楽寺、薬師如来座像は大福寺、弘法大師座像は与楽寺の本尊です。

『広陵町町勢要覧2014 統計資料編』P8

問43 ウ

『(旧) 広陵町史』P538・539

問44 エ 問45 イ

『(旧) 広陵町史』 P496・497 『広陵町史』 P923・924

問46 イ

十一面観音立像は平成17年6月9日に国の重要文化財に指定されました。発見当初は白檀びやくたんと思われていましたが、その後の樹種鑑定によりマユミであることが判明しました。

『ふる里の文化財をたずねて』 P81 『与楽寺十一面観音檀像』
広陵町の重要文化財2



問47 ア

大字大場の巖島神社は、享保9年(1724)の「宮明細帳」に「寛永20年(1643)に弁財天の櫛玉神社から勧進された」と記載されています。

広陵町社会教育委員会編纂『広陵町の民話』①大場の弁財天(大場)

『(旧) 広陵町史』 P435

第5 特産品分野

問48 エ

古くから大和木綿(やまともめん)の産地で知られた広陵町で、明治末期から農閑期の副業として靴下産業が発達し、日本一の靴下生産地である奈良県の中核産地として発展しました。

『町勢要覧2014』 P17など



問49 ア

昭和40年頃から盛んに栽培されるようになり、昭和43年に国の産地指定を受けました。

『広陵町史』 P748

第6 祭・イベント分野

問50 ウ

月を眺めることが趣味のかぐやちゃん。月に代わっておしおきするわけではありませんよ!

『広陵町くらしのガイド2015』 P7

問51 ア 問52 エ

かぐやちゃんの持っている扇は月をイメージした黄色で、「広陵町かぐやちゃん」と書いています。



問53 ウ

チャレンジデーは、世界中で毎年5月の最終水曜日に実施しており、広陵町は町制60周年となる平成27年に初参加しました。今年も5月30日に開催しますので、ぜひご参加ください。

『町広報紙』平成29年7月号・『広陵町ホームページ』

問54 ア

戸閉祭（とたてまつり）は、今まで毎年10月31日・11月1日に開催していましたが、サラリーマン世代が増えて祭りのなり手が減ってきたことや減少する祭りの見物客を増やそうと、平成29年から文化の日前の11月2日・3日に変更しました。

『町広報紙』平成29年10月号



問55 エ

広陵金明太鼓は平成6年に開館したかぐや姫ホールのかげら落としの際に結成された太鼓のグループです。「金明」はかぐや姫の生まれた竹、「金明孟宗竹」に由来しています。結成20周年を記念して、新たな曲が作られました。

『町広報紙』平成28年8月号・10月号



問56 エ

大垣内区の専光寺で行われる地藏盆で、毎年8月24日に開催しています。江戸時代から約300年続いているといわれる伝統行事です。

『広陵町史』P1081 『町勢要覧2014』P16



問57 ア

葛城地域観光協議会（大和高田市、御所市、香芝市、葛城市、広陵町）が、共同でこの地域を舞台にした映画を制作しました。ヒロインの吉井さくらを演じたのが小芝風花さん。平成29年2月上映開始し、たまに図書館などで上映会も開催されるので、皆さんもぜひ見てくださいね。

『町広報紙』平成28年8月号・10月号・平成29年1月号

問58 イ

ナンバーワンフェスタは、関西国際空港で開催、ムジークフェストなら及び奈良オクトーバーフェストは奈良公園周辺等で開催で、かぐやちゃんはまだ参加していません。馬見フラワーフェスタは地元の馬見丘陵公園で毎年10月頃に開催されています。



『奈良県・広陵町ホームページ』など

問59 ア

敬老の日に合わせて、高齢者が元気に健康で過ごしてもらうため、毎年健康福祉大会をかぐや姫ホールで開催しています。

問60 ウ

「天使」のいる図書館なので、羽根以外が降ってくると変ですね。

第7 行政分野

問61 ウ

竹下登首相時代に「ふるさと創生事業」として平成2年に開館したグリーンパレスは、周辺に宿泊施設のない広陵町では貴重な施設となっています。

『町勢要覧2014』P9



問62 イ

広陵町となってから約3年後の昭和33年1月17日に制定されました。

『広陵町例規集』など



問63 ウ

町民憲章は、昭和52年12月20日に制定されました。以下は原文です。

わたしたちは、みどりの自然と古い歴史に生まれ、豊かな未来の創造をめざす広陵の町民です。

- ・広陵町民は、心のふれあいをたいせつにします。
- ・広陵町民は、美しい自然をたいせつにします。
- ・広陵町民は、歴史と文化をたいせつにします。
- ・広陵町民は、老人を敬い、子どもの未来をたいせつにします。
- ・広陵町民は、健康と働くことをたいせつにします。

『町勢要覧2014』P2

問64 イ

広陵町の指定避難所は、災害時に避難所になりうる場所を指定しています。広陵運動公園の施設（野球場のバックヤード）では、あまり人を収容できないことから指定されていません。

『広陵町くらしのガイド2017』P35

問65 ア

広陵町役場・中央公民館・さわやかホールはすべての路線が、はしお元気村は中央幹線と北東部支線が乗り入れしているため乗り換えができます。図書館

は西部支線のみが乗り入れています。

『広陵町公共交通総合時刻表』など

問66 ウ

保健師や健康運動指導士などが、毎月小学校区ごとの地域に出向き、運動や栄養など健康に関する取り組みを行っています。気軽に身近に参加できることから、毎年参加者が増加しています。



問67 イ

さわやかホールは正式名称を「総合保健福祉会館」ということから、保健に関する事業は、さわやかホールで実施しています。

問68 ア

平成28年3月に第2次広陵町健康増進計画が策定されました。すべての町民が健康な生活を送れるよう総合的な健康づくり施策を推進しています。

『広陵町ホームページ』

問69 ア

就学前児童とその保護者を対象に、さわやかホール及びはしお元気村で定期的に開催しています。他の子どもや保護者とのつながりを作るきっかけづくりの場所となっています。

『広陵町くらしのガイド2017』P12・58

問70 ウ

今後は骨密度健診についても実施を行う予定です。

『町広報紙』ヘルシーネットワーク・毎年3月の保健事業の挟み込みチラシなど

問71 エ

問72 イ

広陵町の一般会計予算について、ここ10年は100億円前後で推移しています。

『町広報紙』

問73 ウ

広陵町の高齢化率は毎年約1ポイントずつ上昇し、5年前から比べると5ポイント以上も上昇しています。

問74 ア

奈良県内の特定健診受診率が低く、奈良県でも、また広陵町独自でも受診率が向上するようさまざまな取り組みが行われています。第2次広陵町健康増進計画では、特定健診受診率を50%以上にしよう目標が定められています。

『広陵町データヘルス計画』

問75 イ

問76 ウ 問77 エ 問78 ア

幼稚園は広陵西幼稚園、広陵西第二幼稚園、広陵東小学校附属幼稚園、広陵北幼稚園、真美ヶ丘第一小学校附属幼稚園、真美ヶ丘第二小学校附属幼稚園の6園あり、小学校は広陵西小学校、広陵東小学校、広陵北小学校、真美ヶ丘第一小学校、真美ヶ丘第二小学校の5校、中学校は広陵中学校、真美ヶ丘中学校の2校があります。ただし、平成30年4月から広陵北かぐやこども園が開園することから、広陵北幼稚園と広陵北保育園は閉園します。

問79 ア

平成20年に当時県内一人口の多い町だった田原本町を追い抜き、奈良県で最も人口の多い町となりました。人口減少や人口消滅都市が叫ばれるなか、人口増加し続ける数少ない自治体です。ここ2年は、35,000人前後で推移しています。

『広陵町ホームページ及び町広報紙』

問80 イ

チャレンジデーは、広陵町では3回目の挑戦で、宮城県東松島市と対戦。参加率は、広陵町が67.5%、寒川町が43.3%で念願の初勝利となりました。今年の5月の最終水曜日（5月30日）にも挑戦しますので、ぜひご参加ください。



『町広報紙』平成29年7月号・『広陵町ホームページ』

問81 ア

広陵町の東部地域では田園風景が広がり農業が盛んなように見えますが、専業農業の割合が少なく、第1次産業人口割合は約2%となっています。町内農業者のほとんどが兼業農家です。

問82 エ

遊具のてっぺんにピエロが模されていることから「ピエロ公園」と呼ばれています。遊具が老朽化していたことから平成28年に改修し、新しいピエロとなりました。

ちなみに「たこさん公園」は、広陵健民運動場にあります。
『広陵町ホームページ』

問83 イ

広陵町ができた当初は、「廣陵乃友」のタイトルで町の情報を発信していました。
『町広報紙』昭和30年9月号



問84 ア

町内在住者の子世帯に地元に戻ってきてもらうため、平成28年12月から新築やリフォームに伴う補助金制度を実施しています。

問85 エ

なすは広陵町の特産品ですが、町内業者に漬物屋がないことから広陵町みどりのふるさと応援寄附金の返礼品にはなっていません。

問86 ウ

平成29年12月現在、広陵町では3路線の地域公共交通が走っており、中央幹線は「赤」、北東部支線は「青」、西部支線は「緑」となっています。
『広陵町公共交通総合時刻表』など



第8 地域・道路分野

問87 ウ

モニュメントの球体は月を表し、かぐや姫の里帰りを表しています。モニュメントの下には、タイムカプセルが埋められています。このタイムカプセルを開くのは、「町制100周年の時」。つまり、2055年となっています。
『広陵町史』表写真

問88 ウ

南郷環濠集落は、役場南側にある昔の環濠の跡で、今は護岸整備されその当時の風景を残しています。平成12年9月には旧建設省の「蘇る水百選」に認定されています。
『広陵町史』P718・719



問89 ア

平成30年4月に開園するのは「広陵北かぐやこども園」で、広陵北幼稚園と広陵北保育園を合併し、新たな保育サービスの充実を図るために建築されます。名称は町民の皆さんから公募し、園歌や園章も公募しています。

『広報こうりょう』平成29年1月号

問90 イ

野村豊和氏は、柔道三連覇の野村忠宏氏のおじで、町に初めて金メダルをもたらした方で広陵町名誉町民の一人になっています。

『広報こうりょう』昭和47年9月号

問91 エ

平成28年4月28日に町人口が35,000人を超えました。

『広報こうりょう』平成28年6月号

問92 イ

広陵町では町制60周年を記念して、豊かな自然と歴史や文化に恵まれた広陵町を町内外にアピールするため、広陵町イメージソング「広き陵（ひろきおか）」を制作しました。なお、作曲者は米谷幸さんです。

『広陵町ホームページ』

問93 イ

問86に記載。

問94 イ

選択肢の中で笠・ハリサキ線のみが町道で、中和幹線は県道105号線、大和高田・斑鳩線は県道5号線、大和郡山・広陵線は県道108号線です。

問95 ア

作詞は町内の方（大山浩平氏）がされましたが、作曲は既に有名であったキダ・タロー氏にお願いし、広陵町らしい元気な曲調の歌が広陵町歌となりました。

問96 ウ

竹取物語やかぐや姫を連想させる竹が町のマンホールの図案となっています。

問97 イ

それぞれ9ホールの広瀬路コースと百済路コースがあり、合計で18ホールとなっています。



問98 イ

広陵パークゴルフコースは平成22年に開園し、これまで多くの方、特に高齢者が気軽に遊べるスポーツとして楽しまれています。

『広陵パークゴルフコースパンフレット』

問99 エ

広陵町内には、中和幹線をはじめとする片道2車線の幹線道路が数多く通っていますが、国道は通っていません。

問100 ア

広陵町の靴下ブランドを日本だけでなく、海外にもPRしていくためにロゴマークを作成しました。今後、海外製品にはない町独自の靴下の開発を行っていく予定です。

